

## 勝山市立中学校の施設状況

### ◎令和3年時点での校舎の建築経過年数（普通教室棟の最も古い築年数）

勝山中部中学校：昭和41年建築（北校舎）…55年経過

勝山南部中学校：昭和46年建築（南校舎）…50年経過

勝山北部中学校：昭和57年建築（校舎）…39年経過

### ◎施設の改修・補修状況

中学校については、平成24年度から耐震補強・大規模改修を実施したが、全体的に老朽化が進む中で、様々な箇所での補修の必要性が生じている。

その経費は最近5年間で年平均約7千万円となっており、今後も増大することが想定される。

### ◎3中学校の建て替えまたは長寿命化改修

現在の3中学校を維持するには、近い将来、建て替えまたは長寿命化改修が必要となる。その整備費見込みは次のとおり。（生徒数減により、現校舎面積の0,8～0,9を乗じた面積とする。また、工事期間中の仮設校舎経費は含まない。）

（イ）建て替え…約70億円

（ロ）長寿命化…約45億円

### ◎1校に統合して新築

勝山高校敷地内に中学校を新築する場合の整備費（体育館は新築せず。仮設校舎不要）

中層階建て（4～5階）の校舎を想定…約20～25億円

\*中高共用の特別教室を整備するなどの手法を用いれば、整備費は縮減される。